令和２年度　秀峰園事業報告

令和３年６月９日
秀峰園　松藤　義徳

１、職員配置

令和３年３月３１日現在

管理者　１　　ｻｰﾋﾞｽ管理責任者　１　　目標工賃達成指導員　１
生活支援員　３（１）　　職業指導員　（３）　　調理員　（２）　　嘱託医　（１）
※　（　）内の数は非正規職員

２、開所日数・利用者数・出勤率

令和２年度は、２４名で始まり、５月に１名入所と６月に２名入所し、最終的に２７名の登録となりました。
しかしながら、長期欠席者もいましたので、出勤率は上がりませんでした。

	開所日数	利用者数	実利用者数	延利用日数	出　勤　率	出勤率（２０名）
４ 月	２３ 日	２４ 人	２４ 人	４５８ 日	８３．０ ％	９９．６ ％
５ 月	２２ 日	２５ 人	２５ 人	４７６ 日	８６．５ ％	１０８．２ ％
６ 月	２３ 日	２７ 人	２５ 人	５０３ 日	８１．０ ％	１０９．３ ％
７ 月	２３ 日	２７ 人	２７ 人	４８６ 日	７８．３ ％	１０５．７ ％
８ 月	２２ 日	２７ 人	２７ 人	４７３ 日	７９．６ ％	１０７．５ ％
９ 月	２１ 日	２７ 人	２７ 人	４２３ 日	７４．６ ％	１００．７ ％
１０ 月	２４ 日	２７ 人	２６ 人	４８９ 日	７５．５ ％	１０１．９ ％
１１ 月	２２ 日	２７ 人	２６ 人	４６９ 日	７９．０ ％	１０６．６ ％
１２ 月	２２ 日	２７ 人	２６ 人	４７１ 日	７９．３ ％	１０７．０ ％
１ 月	２１ 日	２７ 人	２５ 人	４２２ 日	７４．４ ％	１００．５ ％
２ 月	２０ 日	２７ 人	２７ 人	４３０ 日	７９．６ ％	１０７．５ ％
３ 月	２６ 日	２７ 人	２７ 人	５４６ 日	７７．８ ％	１０５．０ ％
合　計	２６９ 日	３１９ 人	３１２ 人	５，６４６ 日	７９．０ ％	１０４．９ ％

３、平均年齢・平均通所年数　　（ 男 １６名　：　女 １１名 ）

平 均 年 齢	５６．１９歳	（ 男 ５６歳	： 女 ５６歳 ）
平均通所年数	１３．３６年	（ 男 １２．５年	： 女 １４．２１年 ）

４、作業支援

縫製班

下請け作業

アンネルについて、布団の側縫い作業を安定して受注出来る事が出来ました。
今年度は、通常作業以外でコロナ感染者に使用するコロナセットを受注し、作業が増えました。
盛和について、フレコン（フレキシブルコンテナバック）の部分縫い作業の受注を安定して受注する事が出来ました。
出勤状況を確認しながら、受注調整をし、利用者に出来る限り作業を提供し納品を行いました。

自主製品

きょうされんふきんについて、夏、冬に大きな受注があり、受注に対応できるふきんの枚数を計画的に作る事が出来ました。今後もふきんのクオリティーを維持しながら、売り上げを伸ばしていけるよう取り組んでいきます。
自主製品（小物）については、販売が難しい状況だったので、夏、冬の物品販売等で売っていきましたが、売り上げを伸ばす事は出来ませんでした。

軽作業班

下請け作業

「牛嶋内職」のチラシセット作業と「中村製作所」のウレタン張り作業。「早雲商事」より、のし茶分別作業を行いました。
色々な決まり事や確認事項に気をつけながら、利用者の多くの方に作業を提供する事が出来、毎日安定して作業を行いました。

施設外就労

「リネン作業」と「清掃作業」の２つの施設外就労を取り組みました。
　リネンや清掃は決められた方法がある事や体力面、外部での作業となる為
挨拶や建物、備品の破損等、気を付けなければならない事が沢山ありますが、やり甲斐のある作業として取り組む事が出来ました。

リサイクル作業

　毎週決められた回収先を訪問しながら、電話による追加先も回収しながら、安定した回収量を確保して行きました。雑品を解体、選別し、中の金属等を仕分けする作業も行いました。
また、段ボール、新聞、雑誌等も業者へ持ち込み納品しました。
　リサイクル作業は、回収を通じて、地域の方との繋がりにもなっているので、今後も続けていきます。

役務

　毎年依頼していただくお客様を中心に、紹介等での新規のお客様もあり、今年も安定した受注がありました。
夏場を中心に受注を受けますが、家の片づけ等、地域の方が困っている事を冬場にも受ける事が出来ました。

販売

　催事販売、施設販売は、コロナウイルス感染拡大の為、中止となり、売り上げも無くなりました。
　道の駅などの委託販売は、安定して売り上げがありましたし、「チョコポン」等、冬場限定の商品を販売しましたが、売り上げを伸ばす事が出来ませんでした。

加工

　「ポンせんべい」を中心に販売や納品に合わせて、質・量ともに生産する事が出来ました。加工に携わる利用者が少ない事が課題ですが、作業を効率よく行いました。
今後も情報収集しながら、新しい商品を作れるよう、取り組んで行きたいと思います。

５、作業班人数及び工賃支払状況

下半期	上半期計	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
縫製班（９名）	859,434	130,241	140,895	199,490	141,666	186,824	162,370	1,820,920
軽作業班（１８名）	1,519,681	255,487	229,537	379,291	222,919	219,182	275,030	3,101,127
工賃総額	2,379,115	385,728	370,432	578,781	364,585	406,006	437,400	4,922,047
縫製班（平均）	15,915	16,280	15,655	22,166	15,741	20,758	20,296	17,199
軽作業班（平均）	14,071	15,029	13,502	21,072	12,384	12,177	16,178	14,564

６、利用者支援

「仕事をしたい」「少しでも沢山の給料をもらいたい」という思いを大事にし、作業を中心としながらも障害の配慮や見守りを重視しました。また作業以外でも利用者の喜ぶ事、求めている事は何なのかと考え、可能な限り実行してきましたが、コロナウイルス感染拡大の為、満足な取り組みを提供する事が出来ませんでした。

長期欠勤、入院、手術もありましたが、秀峰園に元気な限り行きたいという利用者が沢山増えて来ている中、楽しく生きていけるように秀峰園を利用してもらうにはどうすればいいのかを考えながら支援をしました。

病院を通院しても秀峰園を利用出来るよう送迎支援や独居の方も多く、大半が移動手段もなく、また家族の支援がない為、入院手続きや付き添いも支援しました。市役所からの書類の説明や提出、手続きや更新の支援も行いました。また、ハローワーク行きや陶芸教室利用等も送迎支援しました。

聾唖者に対しては、職員が手話を使い、コミュニケーションを取り、意思の疎通を取る事が出来ました。

７、生活支援

健康管理

サーマルカメラを購入し、毎日検温を行っているので、体温の変化もすぐに分かり、体調不良の早期発見に繋がりました。インフルエンザの予防接種に行けない方は秀峰園で連れて行きました。また、年２回行っている田川診療所による健康相談で体に対する注意点や改善点を本人と職員に指導していただきました。

医療情報財団による年２回の健康診断は出来る限り受診してもらうよう声掛けをし、再検査の診断が出た方には病院に行くよう促し、必要ならば家庭に連絡、報告しました。
健康相談や健康診断を通じて、体調や精神状態を把握し、安定を図りながら、秀峰園に毎日出勤出来るような健康状態を作るよう声掛けしました。

防災管理

年２回の避難訓練（避難誘導・消火・通報）を利用者に実施日は伝えず、実際の火災に想定した意味のある避難訓練を行っています。聾唖者は特にサイレンが聞こえないので、秀峰園で設置しているパトライトの点灯を確認出来たか、職員が火事だとスムーズに伝える事は出来たか等、館内放送、避難経路、誘導、避難場所の確認をし、最後は水消火器での消火訓練を行いました。

８、職員研修

利用者に対する支援や食品を扱う上での知識、スキルの習得の場とする事と職務上必要な能力や専門性が身に付くように、また、他業種の考えや情報を得る事により、人間の幅を広げ一層のサービス向上や教育、自己啓発や成長にも繋げていく事を目的に、様々な研修と運動に参加を毎年していましたが、今年度は、コロナウイルス感染拡大の為、中止や延期となり、殆ど、参加出来ませんでした。
また、毎日の業務の中で、職員が一番揃う時間として、１７時頃、毎日終礼を行い、その日にあった事の報告や明日の予定等を確認しています。月に１回の職員会議は職員全員で周知徹底していますし、ケース会議は、３ヶ月ほど使い、利用者の事を掘り下げて全職員でしっかり話しています。

９/２３	就労支援部会
９/２６	しあわせの会
１０/１０	きょうされん福岡支部運営委員会　Ｗｅｂ会議
１０/２８	就労支援部会
１１/１４	利用者ケース会議
１２/１９	きょうされん福岡支部運営委員会　Ｗｅｂ会議
１２/２３	就労支援部会
１/１６	利用者ケース会議
１/２６	安全運転管理者講習
１/３０	利用者ケース会議
２/１３	きょうされん福岡支部運営委員会　Ｗｅｂ会議

９、行事活動

個別支援計画書や日常でやりたい事や行きたい所を利用者から意見を吸い上げ、土曜日の取り組みや友の会の行事で、これまでは取り組んできましたが、コロナウイルス感染拡大の為、殆ど活動出来ませんでした。

５月　・個別支援計画書説明、秀峰園利用契約更新　・健康相談
６月　・夏の物販
８月　・大掃除、ボーナス　・健康診断
１０月　・避難訓練　・健康相談
１１月　・冬の物販
１２月　・大掃除、ボーナス　・忘年会
１月　・新年会
３月　・健康診断　・友の会総会　・避難訓練　・花見

○９月より、ダンス練習（週１回から２回）希望者のみ
１１月２１日（土）　ダンスリハーサル
１１月２２日（日）　ダンス講演

今年度は、コロナウイルスの影響で、コロナが怖い、分からないという事で、外出や人が多いところには、行かないといった対策を講じた為、行事等が無くなりました。
そんな中、７月頃にダンスの先生と縁が出来、希望者のみでしたが、９月から、毎週本格的にダンスを練習し、お客様がいるダンス講演で、創作ダンスを披露する事となりました。
コロナ禍の中でもありましたし、体を動かすのは好きなのですが、恥ずかしさや障がいの関係で、覚える事を最も苦手としているので、初めての試みでもあり心配していましたが、練習を重ねる度に自信をつけ、楽しんでダンスをやるようになりました。
先生の人柄も良かったと思いますし、障がいを持たれている方と接して、色んな発見や刺激になって、勉強になりましたとおっしゃてました。
本番当日は緊張していまし疲れたと思いますが、２回の公演を無事に終え、利用者全員、達成感と感動をしていました。また、次もやりたいと話していましたし、今後もこのような縁がありましたら、積極的に関わっていきたいと思います。
緊急事態宣言がまた発出され、引き続き行事を行う事は難しい状況ですが、ワクチン接種等、社会の環境を見つつ、可能な限り、利用者の希望に沿った行事を取り組んでいきたいと思います。